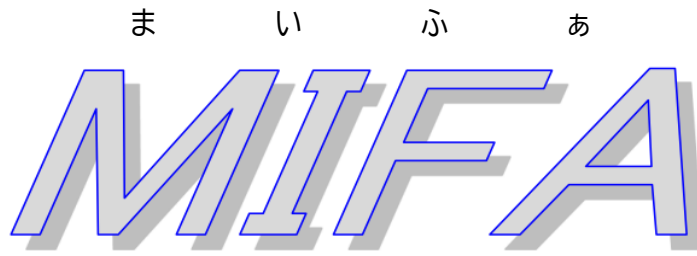


発行日：2024年7月1日

目次

定時総会が開かれました	1
ブラッシュアップ講座	2
2024年度 役員・委員	3
日本語学習アレコレ	4
日本語上級者への支援方法のひとつ	4
私と奥泉先生	4
状況表	5
役員会便り	5
7月～11月の予定	6



No.151 Jul/Aug/Sep 2024
まちだ地域国際交流協会
Machida International
Friendship Association
ボランティア団体/会長 黄川田 南
URL: <http://mifa-machida.info/>

定時総会が開かれました

連休明けの5月9日(木)、市民フォーラム4階の講習室で2024年度のMIFA定時総会が開かれました。開始時刻の13時半には出席者が24名※になり委任状提出者56名と合わせて80名。この数が会員総数107名の2分の1以上のため総会成立条件(会則第15条)を満たすことを総務部の鈴木礼子さんが説明し総会の開始を告げました。冒頭で黄川田会長は「今年度は活動に参加する人の数を増やし“盛り上げる年”にしたい」と今年度のテーマを掲げました。続いて議長に会長の黄川田さんが選任され、書記に近藤公美さん、三村容子さんの2名を指名、議事を開始しました。第1号議案から第5号議案まで議案ごとに部長や会計監査役が前に出て説明。この中で、語学部長が11月の日本語スピーチ大会、友好部長が7月のバーベキュー大会、来年2月の新春の集いなど、今年度のイベントの計画を説明しました。「議案は出席者の過半数の賛成をもって可決」と黄川田さんが解説。挙手によって採決を行いました。第1号議案から第5号議案まで何れも賛成多数で可決されました。

- 第1号議案 2023年度活動報告
- 第2号議案 2023年度 決算並びに活動報告
- 第3号議案 任期満了に伴う役員改選
- 第4号議案 2024年度活動計画(案)
- 第5号議案 2024年度予算(案)
- 第6号議案 その他

第6号議案の「その他」では、出席者から出た要望と総会出欠票に記入されていた要望について話し合いました。それらの要旨は次の通りです。

- ・ 支援者を増やすために今年度もボランティア養成講座を行ってほしいと要望がありました。開催するかどうか役員会などで検討します。
- ・ 学習者が読みやすいように MIFA ニュースにルビを振ってほしいと要望がありました。ルビを振るかどうか検討します。
- ・ 会費を手渡しで払えるようにしてほしいと要望がありました。手渡しは会計部、コーディネータの負担が大きいため銀行振込のみとしています。ご理解いただきたい。
- ・ 日本語教室で災害が起きたときにどのように行動すればよいか指針を示してほしいと要望がありました。ビルの管理者などと相談して行動指針などを示すことができるよう検討します。

総会はほぼ予定通りに進行。15時15分に閉会となりました。

※ 遅れてきた方も含めると最終的に25名の出席となりました。

(広報部 濱田)

ブラッシュアップ講座



4年半ぶりのブラッシュアップ講座が4月13日(土)にせりがや会館で開催されました。講師の方を含め28名の支援者が出席しました。

今回は「経験ある支援者の支援を聴いての情報交換会」と銘打ち、5名の支援者が講師になって、以前より皆さんから関心のあった3つのテーマについて発表していただきました。

第1のテーマ「初心者・特に媒介語がない学習者への支援」については、浅田マリ子さん(土曜A)が発表しました。媒介語が分かる場合でも学習者の為に媒介語をなるべく使わず、学習者のことをよく知り目的に合った支援をする姿勢で臨んでいます。「みんなの日本語初級」の図を使って語彙や会話を段々と順を追ってレベルアップしていく方法を発表しました。また“発音は特に拍が重要だ”など初心者だけでなく中級者にも適用可能な発表でした。

第2のテーマ「日常会話を勉強したい学習者への支援」については、横山美枝子さん(土曜B)、下山健さん(月曜)、黄川田南さん(土曜A)が発表しました。

横山さんは、文法は分かっているものの会話がほとんどできない初心者に対して、この1年間でパソコン(パワーポイント)を用いて図や絵を効果的に使い、名詞、動詞、形容詞、助詞の順に基礎レベルを高め、最後に副詞を加えて文章の形にまとめられるようにした経験を発表しました。具体的で明確で

分かりやすい発表でした。

下山さんは、学習者の状況に合わせて“面白い、飽きない、退屈させない”をモットーに、学習者の特性に合わせて最適な支援方法を選んでいきます。発表は、長い支援経験に基づいたもので、支援全般に適用可能な内容でした。特に、ホワイトボードを使っての逆質問の仕方、作文の指導法などの具体例の説明は、なるほどと感心するような内容の発表でした。

黄川田さんは日常会話を含め会話を学びたい学習者について、基本条件(ひらがな・カタカナが読める、語彙力、基本文法など)が揃った上で、学習者に話す機会を最大限に与えることを重要視し、学習者からの会話を効果的に引き出す方法を詳しく発表しました。また、間違った発音への注意が如何に重要であるかの具体的な例はとても分かりやすいものでした。

第3のテーマ「上級者(N1・N2レベル)への支援」については、倉間和子さん(土曜B)が発表しました。テキストは「日本語総まとめ」を使って文法を中心に教え、試験前にはどの学習者も回答に時間がかかって苦勞する読解に注力して、時間を測って短縮させるなどの経験談を発表しました。特に、学習者に対し“とにかく例文をたくさん覚えさせる”ことの重要性を強調されていたのが印象的でした。

質疑応答は、各講師の発表後と全講師の発表終了

後に行われ、多くの応答がありました。

全般的に、実用的で直ぐ役立つ内容の発表が多く、また、学習者の目的に合わせるよう支援の方法を様々に工夫し最適な支援を行う姿勢が全講師の発表に表れていました。一対一支援ならでの発表でした。質疑応答を含め本講座の狙いである情報交換がうまく機能して受講者の皆さんの支援向上に役立てば幸いです。

最後にアンケートを取りましたが、“参考になった”とのコメントも多く企画スタッフの励みになりました。各種のご意見は次回以降の企画の参考と致します。

また、講師の方々が紹介した図書(「みんなの日本語」、「日本語総まとめ」以外)やサイトを以下に示します。皆様の支援の参考としてください。

講師紹介の図書

もしも…あなたが外国人に「日本語を教える」としたら 荒川 洋平 スリーエーネットワーク
 ペインレスジャパニーズ動詞 100 仁瓶 和美 JP 企画
 ペインレスジャパニーズ形容詞 100 仁瓶 和美 JP 企画
 やさしい日本語ー多文化共生社会へ 庵 功雄 岩波書店

講師紹介のサイト

NHK やさしい日本語 Easy Japanese ビデオ
<https://www.nhk.or.jp/lesson/ja/video/>



みんなの教材サイト
<https://www.kyozai.jpf.go.jp/kyozai/top/ja/render.do>



(語学部 程原)

2024 年度 役員・委員

会 長 黄川田 南 副会長 松崎 罔夫

語学部長 程原 清明 副部長 早田 紀子 委 員 青山 恵理子 武田 伴子

コーディネータ 及び サブコーディネータ

月 曜 植田 哲史 安藤 裕子 水曜夜 鍋谷 匡乃 前田 雅代

親 子 石川 久恵 吉野 かおる 木 曜 三村 容子 大井川 正

火 曜 三澤 康正 丸岡 千恵子 土 曜 小林 淳子 武田 伴子(A) 青山 恵理子(B)

友好部長 樋村 淳 委 員 幾野 光彦 福井 亜也

会計部長 大江 康熙 副部長 依岡 雅人

広報部長 濱田 敏裕 副部長 立石 滋子 委 員 池田 晴美

総務部長 鈴木 礼子 副部長 近藤 公美

監 査 役 古谷 民子 町田 和子

顧 問 渡辺 紀子

日本語学習アレコレ

日本語上級者への支援方法のひとつ

月曜クラス 奥泉 照代

中国で N1 を取得済みで、ご家族で日本滞在 8 年という陳さんへの日本語支援を依頼されました。それは、今から 1 年 9 か月前の 2022 年 9 月のことでした。

コーディネータの方の話では、「日常会話は問題なし」とのこと。「そんな日本語上級者に何を教えたらいいのかしら？」と少々悩みつつ、陳さんにお会いしました。初対面の折、彼女は私の手を自分の両手で包み、「よろしく願います」と。その手のぬくもりは私の杞憂を溶かし、「そうか！ 師弟関係ではなく友人として give and take(学び合い)の気持ちでやってみよう！」との思いを起こさせてくれました。

陳さんが日本語の再学習を思いついたのは、日本育ちの 4 歳の息子さんから、「ママのしゃべり方、少しおかしい」と言われたからだそうです。

「聞く」「読む」は相当な力がありました。そこで、「書く」「話す」にしばって、教材や支援方法を模索しました。数箇月の試行錯誤の後、2 時間の学習時間を次の 4 コマに分けることが定着しました。

1 コマ目 教室全体の朝礼。前の週に与えられた「今日のお題」に沿った小文章を発表し合い、お互いの理解と親睦を深めました。

2 コマ目 中国の教育、家庭、社会、料理等、話題を決めて、差し障りのない範囲で語ってもらいました。時には質問したり、日本との違いを説明したり・・・。School Japanese 的な表現や、意味が通じても不適切な表現はその場で訂正するようにしました。

3 コマ目 高校の国語の問題集で、(正誤は論外)陳さんの解答に混じる略字(簡体文字)をチェックしたり、訓読みの送り仮名をチェックしたり、書くことを主にしました。また、新聞記事を読んで意見交換をしたり、百人一首や俳句そしてカルタで日本の古典の香りをちょっと嗅いだりもしてみました。

4 コマ目 単なる「井戸端会議」。まだまだ男社会の名残が残る中国と日本、女として共通の「グチ」はあふれるばかり。時には母親としての喜びに共感したり、私は料理を教え、陳さんは私の苦手なカラオケやアニメについて教えてくれたりと、話題は尽きません。「女三人寄れば姦しい」そうですが、我々女二人でも十分にかしましく、周りに少し迷惑をかけているかもと心配しています。

こうしてお互いの雑学を披露し合いながら、お互いが学び合っているように思います。実は、陳さんとは 50 歳近い年



陳さん(左)と奥泉さん(右)

齢差があるのですが、そんなことを全く感じる事が無い、あつという間の 2 時間であり、この 1 年 9 か月でした。

陳さん！ 謝謝。

私と奥泉先生

月曜クラス 陳 せい

私の日本語の先生は奥泉先生です。奥泉先生は非常に博識で、様々なトピックについて話すことができます。まるで先生の服には数えきれないほどたくさんの知識のポケットがついているようです。先生は私に日本語を教えるだけではなく、日本の文化や社会の風習を紹介し、理解させてくれました。また、育児に関するアドバイスや助言もたくさんくれました。

私が MIFA に参加したきっかけは、日本語がどんどん上手くなる子供や子供の学校の先生とより良いコミュニケーションを取りたいという思いからでした。参加してから、私は多くのことを学び、理解しました。奥泉先生との交流を通じて、私の日本語能力だけでなく、日本の文化や生活に関する知識も豊富になりました。今では、日常生活の中でも他の人と自信をもって日本語で話すことができるようになりました。

毎週月曜日の授業は私にとって一番楽しい時間です。先生は私の状況に応じて特別な教え方を採用し、最も効果的な学習体験を提供してくれました。先生との毎週の授業の中で、私は新しいことを学ぶたびに感動します。授業の休み時間には先生はいつも私の最近の悩み事や困っている事を聞いてくれて、相談に乗ってくれます。奥泉先生は私の日本語の先生だけでなく、人生の先生でもあります。

授業を始めてもうすぐ 2 年になりますが、まだまだ学ぶべきことがたくさんあると思います。これからも奥泉先生と一緒に学び続けるチャンスがあることを願っています。先生との出会いは私にとって本当にラッキーなことでした。先生からの助言は私の人生においても大きな影響を与えてくれて、心から感謝いたします。

これからも奥泉先生が健康で幸せでありますように。

状 況 表 2024.5.26 現在

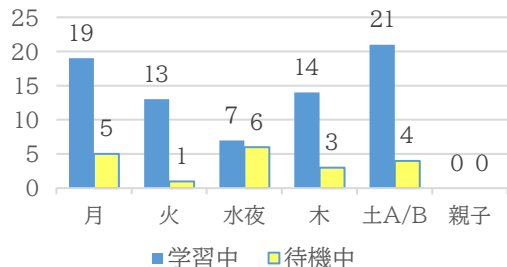
◆学習者数

学習中	74
待機	19
合計	93

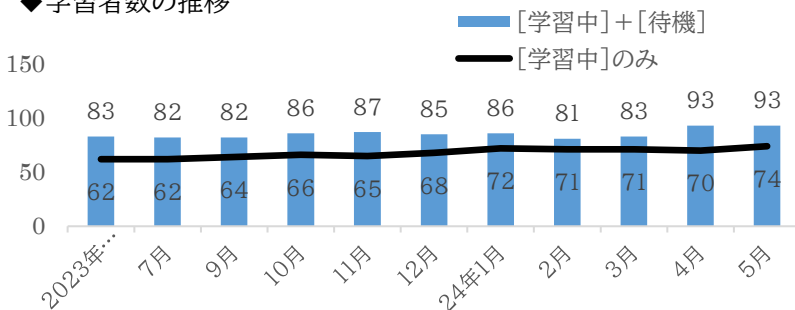
◆支援者

支援中	70
待機 or 休止	37
合計	107

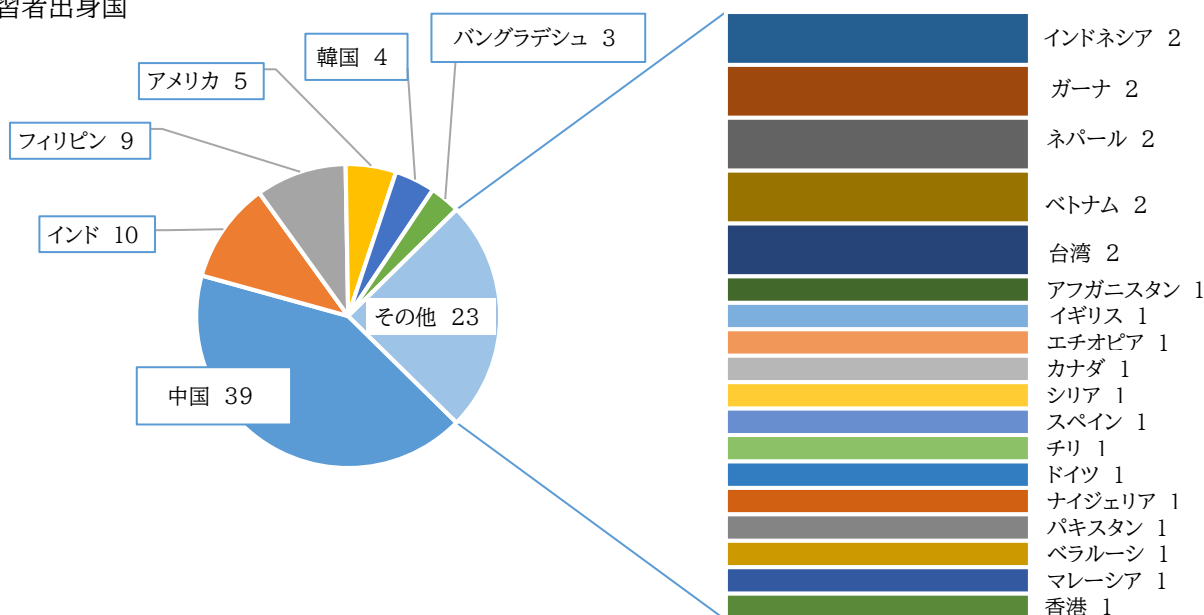
◆クラス別学習者数



◆学習者数の推移



◆学習者出身国



役員会便り

毎月の定例役員会で話し合い、報告された事についてお知らせします

4月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人向けの災害対策小冊子が町田国際交流センター (MIC) から提供されましたので、各教室で配布しました ・生涯学習センター (町田公民館) 学習室が改修のため今年10月から1年3か月にわたって使用不可となります。MIFAの教室予約にも影響が出るかもしれません ・東京日本語ボランティアネット (TNVN) ニュースに寄稿し、掲載されました ・MIC「日本語学習支援ボランティア基礎講座」修了者3名が入会しました ・4月13日 (土) のブラッシュアップ講座はMIFA会員5名が講師となり、初心者教授法、日常会話教授法、上級者教授法をテーマに行います ・親子教室の学習者募集活動を進めるためにHPへの掲載など方法を考えます ・7月21日 (日) Nature Factory 東京町田 (旧大地沢青少年センター) でBBQ大会をします ・2025年2月8日 (土)「新年の集い」開催のために町田市文化交流センター5階「けやき」を予約しました
------	---

<p>5月14日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総会が無事に終わりました。ご協力ありがとうございました。新年度もよろしくお願ひします ・総会議案書を会員に送付した際、出欠返信ハガキを同封しましたが、約 8 割の方から返信がありました ・毎月集計している各教室の状況表から“リモート学習”がなくなりました ・4月13日の「ブラッシュアップ講座」は参加者 28 名で、とても参考になったとの感想でした。この結果を受けて次回を検討中です ・「日本語学習支援ボランティア養成講座」修了者を対象とする「フォローアップ講座」を7月27日(土)、せりがや会館会議室で行います。講師は山形美保子先生です ・2024年度MIFA年会費を横浜銀行口座振込にて集金中です ・「MIFA ニュースにルビを」と総会で要望がありましたが、広報部の負担軽減のためルビは振らないことにします ・総会で議題になった「養成講座の開催」「災害時の対応」については引き続き話し合っていくことにします
<p>6月11日</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・MIFA、MIC、町田日本語の会の「三者会議」が5月15日に開かれましたので、懸案の災害時の対応(防災ルール)について確認した結果、MICはマニュアルに沿ったガイドラインがあることがわかりました。MIFAもそれを参考にガイドラインを作成します ・TNVN総会に出席しました。新たに鈴木恵司氏が代表に就任しました ・教室の状況表に大きな変化はありません ・例年行われているMIC主催の「日本語発表会」は11月10日(日)に開催が決定しました。この日程はMIFAの「日本語スピーチ大会」11月9日(土)の翌日となるため今年度は参加を見送ります ・7月27日の「フォローアップ講座」は対象を直近の養成講座修了者だけでなく2020年度及びMICの修了者にも広げ、また事前アンケートを実施して準備を進めます ・「養成講座」を今年度も開催してほしいという要望が一部からありますので、開催に備えて会場と講師の確保を進めますが、現時点では決められません ・BBQ大会のチラシを配布中です。近日中に申込書を回収し、その後具体的な計画に入ります。現在決まっているのは、参加費無料、対象は会員、学習者とその家族、アルコール類の持ち込み禁止などで80名程度の参加者を見込んでいます

7月～11月の予定

- 7月 9日 (火) 13:30～15:30 役員会 せりがや会館 3階 大会議室
- 7月 21日 (日) 11:00～14:00 バーベキュー大会 Nature Factory 東京町田 (町田市相原町)
- 7月 27日 (土) 13:30～15:30 フォローアップ講座 せりがや会館 3階 大会議室
- 9月 10日 (火) 13:30～15:30 役員会 せりがや会館 3階 大会議室
- 10月 8日 (火) 13:30～15:30 役員会 せりがや会館 3階 大会議室
- 11月 9日 (土) 13:30～15:30 日本語スピーチ大会 町田市文化交流センター「けやき西」
※ MIFA関係者のみ入場できます
- 11月 12日 (火) 13:30～15:30 役員会 せりがや会館 3階 大会議室

8月1日(木)～8月31日(土) MIFA夏休み

掲載文及び写真の権利はMIFAに属しますので、許可なく転用することをお断りします

[編集委員]
濱田敏裕 池田晴美 立石滋子

MIFA ニュース No.151 Jul/Aug/Sep2024
発行日: 2024年7月1日
e-mail: mifa_machida@ybb.ne.jp
ホームページ: <http://mifa-machida.info/>

